



# 沼津市文化財 センター通信 Vol.7

2021年12月発行



文化振興課公式FB

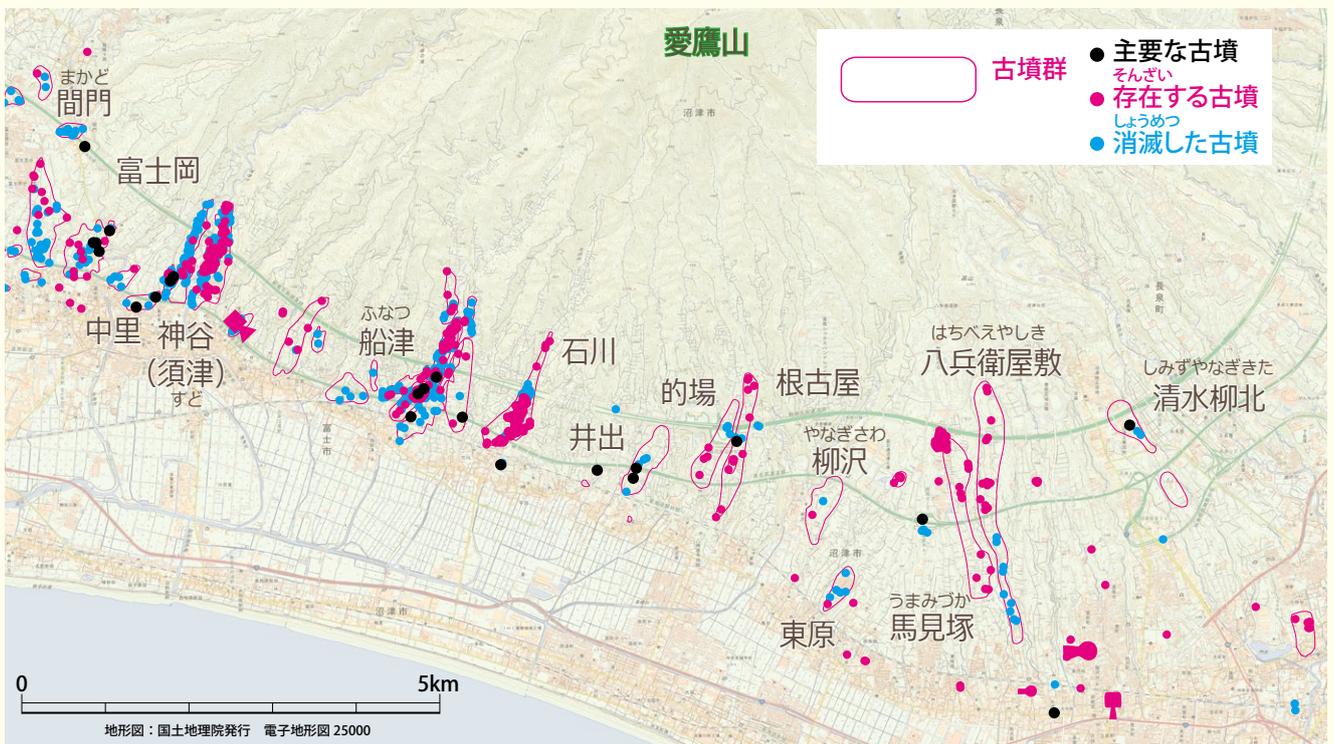


沼津市公式Youtube Ch.  
(沼津の歴史紹介)



## ちいき 地域のリーダーたちが眠る墓

愛鷹山に築かれた 1,400 年前頃の古墳



<愛鷹山南麓に展開した古墳の分布図>

沼津市の北部にある愛鷹山には、約 37,000 年前の旧石器時代から人々が暮らし始め、その生活の跡は遺跡として今も残っています。そしてこれらの遺跡の中でも 1,400 年前頃に築かれた古墳は当時の生活の一端を知る重要な遺跡です。

古墳とは当時の有力者の墓で、愛鷹山においては 1,800 年前頃から造られ始めました。古墳時代の最初の頃は、古墳は地域で権力を持つ王だけが造ることのできる墓であったため、一つ一つが巨大で立派なものでしたが、その後 400 年ほど年月が経つと、地域の有力者も小規模な古墳を造るようになります。これらの古墳は、現在の墓地と同じように、特定の場所に密集して造られていることから、これらの小規模な古墳の集まりを「群集墳」と呼んでいます。

特に多いのは沼津市石川から富士市中里にかけての市境周辺にかけてで、約 600 基ありますが、愛鷹山の南麓での古墳数は 1,000 基以上と推定されています。この数や範囲は、東海地方において最大級といえるものです。



<古墳の発掘調査の様子>



# 古墳に納められていた品々

古墳には、様々な品が納められているんだね♪

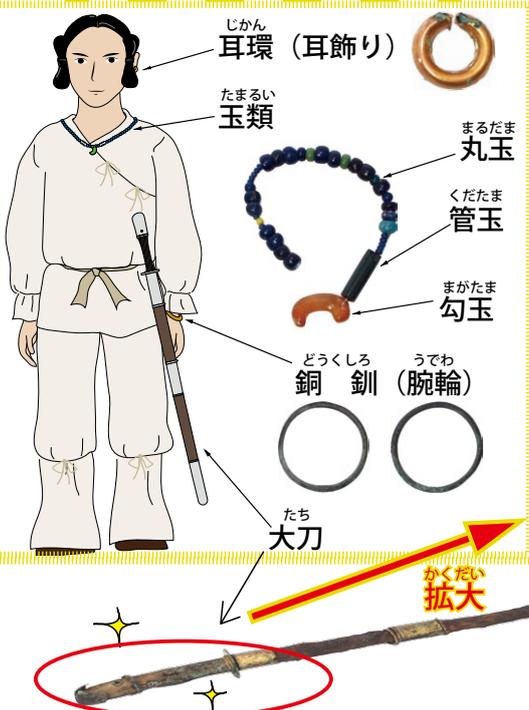


では愛鷹山の古墳の中から発見されるものはどういったものなのでしょうか？ちょっと見てみましょう♪

約1,400年前の古墳には横穴式石室という石で囲われた空間があり、ここには遺体を入れた棺や死者を送る儀礼に使った土器のほか、古墳に葬られた人が生前に使っていたであろう様々な品々が納められました。代表的なものでは刀などの武器類、勾玉などを含む装飾品（アクセサリー）、陸上交通において重要な役割を果たした馬に付ける馬具（馬を操るためのくつわや馬を飾る装飾品である杏葉）、生活に使う刀子（ナイフ）や鎌、糸をつぐむための紡錘車などがあります。

## 古墳の主のいでたち

## 主な馬具



＜金銅装大刀＞（秋葉林1号墳出土 静岡県埋蔵文化財センター所蔵）

## 生活に関わる鉄製の道具

## 案内図



古墳に葬られた人がどんな人物であったのかを知るためには今後も研究が必要ですが、玉類で身を飾れるほどの豊かな生活をし、さらには今回紹介したような輝く武器や当時は貴重な動物である馬を所有できるような力を持った、地域のリーダーのような存在であったと考えられます。

## 沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分  
(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下 530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

